

あなたの意識が進める！平塚市のジェンダー平等



1 例えば、「男が泣くな！」「男はたくましく」「女の子なのだからおしとやかにしなさい」など「男は〇〇」「女は〇〇」というようなことを言ったことがありますか？

ある / ない

解説1 男だからこうあるべき、女だからこうあるべき、といった意識を「固定的な性別役割分担意識」と言います。例にあるような一言で、生きづらくなる人や自分を否定してしまう人もいます。男だから、女だからって、本当にそうであればいけないのでしょうか？

2 「夫は外で働き、妻は家庭を守るべきだ」あなたは賛成？反対？

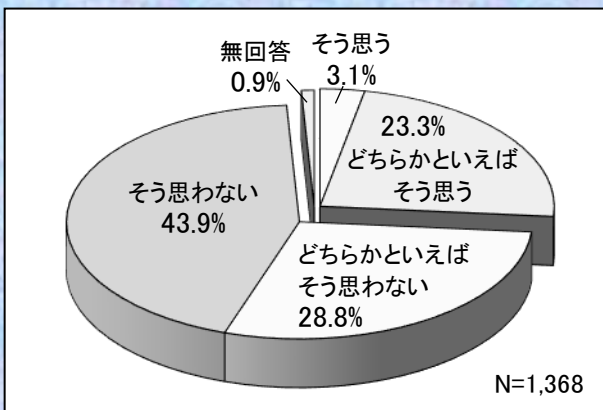
賛成 / 反対



解説2 「夫は外で働き、妻は家庭を守るべきだ」も、解説1で説明した「固定的な性別役割分担意識」についての質問です。「賛成・どちらかといえば賛成」は減少傾向にあり、この意識は徐々に薄れてきています。

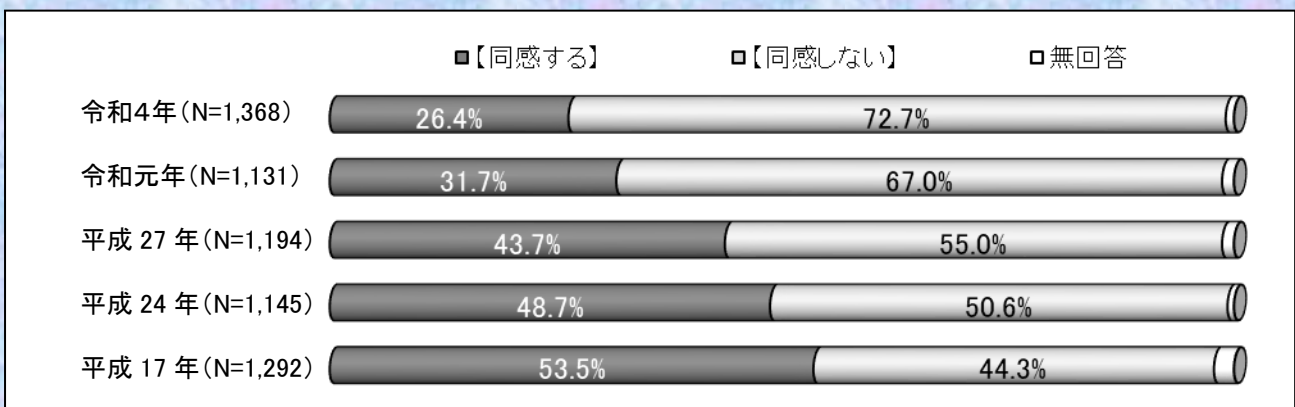
平塚市民意識調査（令和4年度調査）結果は・・・

「そう思う」3.1%
 「どちらかといえばそう思う」23.3%
 「どちらかといえばそう思わない」28.8%
 「そう思わない」43.9%



「そう思う」、「どちらかといえばそう思う」を合わせた【同感する】は26.4%、「そう思わない」、「どちらかといえばそう思わない」を合わせた【同感しない】は72.7%となりました。

【同感しない】は、平成17年度調査では、44.3%と半数に満たなかったですが、平成24年度から過半数を占め、調査毎に割合が増えています。



3 自治会長やPTA会長など、地域活動における会長は、男性が担うべきだと思う

思う / 思わない



4 市に意見をしたり、審議したりする機関である市の審議会（附属機関等）の委員に性別要件はないけれど、女性より男性が委員をした方が良いと思う

思う / 思わない



解説3、4 OO会長、役員、管理職、審議会の委員は、男性が担うべき、女性は補助的な仕事を担うものという「固定的な性別役割分担意識」についての質問です。

ジェンダー平等社会が目指す「性別に関わりなく、個性と能力を十分に発揮できる社会」には、固定的な性別役割分担意識を一人一人が変えていき、個性と能力に合った役割を担い、協力していく必要があります。

5 男性も育休を取るべきだ

思う / 思わない



解説5 共働き世帯が増えている中、ワーキングママは、仕事・家事・育児の三重苦をしいられており、それを解決する力は「男性の家庭進出」「職場の上司のイクボス」と言われています。

男性が家庭進出するためには、部下の仕事とキャリア、ワーク・ライフ・バランスを応援する「イクボス」も不可欠です。平塚市では「イクボス」を増やすための取組をしています。是非ホームページをチェックしてください！

ジェンダー平等とは・・・



誰もが性別に関わりなく、人権が守られ、平等に機会が与えられること、また多様な性を認め合うことも含まれています。

性別で役割を分けるのではなく
協力して社会を作ることが大切！



レインボーフラッグ

セクシュアルマイノリティの方の尊厳と社会運動を尊重する旗。フラッグに使われた色は多様性を表しています。

平塚市 ジェンダー平等

